

Japanese
Healing And What Sickness Is
50-0808

痛しと病とは何か。

クレーブランド オハイオ州 アメリカ合衆国
1950年08月08日



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

父なる神の血であり、
人の性によるものが一切混じっていない、
完全に創造された血なのです。
これを信じますか？
——これこそが、真の福音です、皆さん。
さて、それでは……

痛しと病とは何か。

1 ……？

ありがとうございます、バクスター兄弟。

皆さん、こんばんは……？

本日また、この午後に皆さんの前に立ってお話しできることを、大変うれしく思っています……？

私たちは病んでいる方々のために祈ります……？

時を惜しまず、あらゆるところで……？

この人生の重荷を、少しでも軽くし、

ここでの歩みを、少しでも心地よいものとするためにです……

[テープ欠落]

私は、聖書から少し読ませていただきたいと思います……

[テープ欠落]

バクスター兄弟が、先ほど第一の集会で読んでくださいました……

[テープ欠落]

ヨシュア記から……6節です。

強くあれ。雄々しくあれ。

あなたは、この民に、

わたしが彼らの父祖たちに与えると誓ったその地を、

相続させる者となるのだから。

ただ強くあれ。非常に雄々しくあれ……

[テープ欠落]

どうか主が、
この御言葉に祝福を加えてくださいますように……？
それでは、祈りましょう……？

2 天の父なる神様。

今夜、こうして共に集うことができるこの特権を、心から感謝いたします。

また、私たちの国が、今なお言論の自由を持ち、

それぞれの良心に従って神を礼拝する自由が守られていることを、感謝いたします……？

どうかこの地が、自由という聖なる光によって、長く祝福され続けますように……。

父よ、今夜、私たちは病んでいる人々のために祈るために集まりました。

どうか、あなたご自身が私たちと出会ってください、

御言葉と御霊によって人々を励まし、

今この時に働いておられるあなたの力によって、

人々の上に置かれているさまざまな痛みや患いから、解き放ってください。

父よ、どこにいるすべての奉仕者たちを祝福してください。

特に今夜、必要の中にある奉仕者たち、

そして、ここに集うすべての人々を祝福してください。

もしこの中に、まだ信じていない方がいるなら、

どうかその方々も、あなたの御子イエスを信じる者となりますように。

3 かつて私たちが、

神から遠く離れ、あわれみもなく、

異邦人として生きていた時のことを思い起こします。

しかし、

主なるエホバ神が彼女を覆われ、

その胎の中に、

血の細胞を創造されたのです。

それは、神ご自身の創造の力によるものでした。

その血の細胞から、

人となったキリスト・イエスが生まれました。

彼は、

処女降誕によって生まれた、

父なる神の血を持つお方なのです。

そして——

今夜、私が語っているのは、その血です。

人を救い、

人を癒す、

混じりけのない、神の御子の血。

親愛なる皆さん、

もし、これを信じないなら、

救われることはできません。

ほかに道はありません。

救いは、

イエス・キリストの血によってのみ与えられます。

それは、

そして、神との関係を正しくすること。
まさに、その通りです。
人々を、
生きた信仰へと立ち返らせること。
「それは正しいのか、間違っているのか」を、
はっきり言える信仰です。
神が、
男も女も、自分が名乗っているとおりの者となる日と
与えてくださいますように。
本当に、その通りです。
さて、よく考えてください。
雄の存在——
それは、神が初めから定めておられたことです。
それが、命の秩序です。
だからこそ、
私たちはイエスが処女から生まれたと信じています。
このことについては、
フル・ゴスペルの教会の中でも、
いろいろと議論があるのを耳にします。
しかし、はっきり言います。
私は、マリヤが処女であったと信じています。
彼女は、男を知りませんでした。

しかし、キリストは私たちの代わりに死んでくださいました。
罪なきお方が、罪ある私たちのために。
そして今、私たちは神の子どもとされています。
私たちが将来どのような姿になるのかは、
まだはっきりとは現されていません。
けれども、私たちは知っています。
主が現される時、私たちは主と同じ栄光のからだをいただくことを。
主を、あるがままに見るからです。
そこには、病もなく、痛みもありません。
神よ、その栄光に満ちた贖いの日は、必ずやって来ます。
すべての被造物が、その日を待ち望み、うめいているのです。
今、私たちは、
すべての預言者たちが語ってきた、
あの偉大な黄金時代へと踏み出す、まさに戸口に立っています。
しるしと不思議が、あなたのしもべたちを通して、この地の至るところで行われ、
人々を、私たちのただ中におられる
主なるエホバ神の臨在の認識へと、引き戻してきました。
今夜、私たちに祝福してください。
苦しんでいるすべての人々を祝福してください。
主よ、病んでいる人々のために祈るため、
あなたのしもべに油を注いでください。
また、病んでいる者たちにも油を注ぎ、

あなたを信じる信仰を与えてください。

私たちは、

あなたの愛する御子、イエス・キリストの御名によって

これをお願いいたします。

アーメン。

4 もう少しだけ、皆さんのお時間をいただいてもいいでしょうか。

このあと、礼拝の少し後のほうで……。

最初の部分を、あえてこんなに長くしない理由があるんです。

栄光の御国に行ってからでないと、きっと誰にも分からないでしょう。

この働きが、どれほどのものを人から奪っていくのか。

目に見えない力——超自然的な力と格闘するということが、どんなものなのか。

実際、命そのものが抜けていくように感じることもあるんです。

集会の最中に、8ポンド、10ポンド、時には15ポンドも体重が減ることがあります。

それが、たった一回の集会の中で起こるんです。

そして、そうしたことを通して、私はどこに霊が働いているのかを感じ取り、知るようになる。

それは……両方の側に力が働いているような、そんな感覚なんです。

5 それで、こうして皆さんと少しずつ打ち解けてきたころ、

集会の終わりに近づくと、私は自分の魂すべてをそこに投げ出すんです。

できる限り多くの人に、祈りを受けてもらいたい。

可能な限り、すべての人のために祈ろうとする。

集会が続いている間も……多くの人が前に出て、祈ってもらいたいと願っ

しかし——

一つとして、かえらないのです。

それらの卵は、巣の中で腐ってしまいます。

そうでしょう？

なぜなら、

母鳥が雄鳥と一緒にいないからです。

命が入っていない。

だから、卵は実を結ばないのです。

この話は、

形式だけの、冷え切った教会を、

私は思い起こさせます。

人を抱え込み、

ああでもない、こうでもない、

何とか教会に入れようとする——

しかし、

それは腐った卵でいっぱい、の巣のようなものです。

なぜなら、

雄であるキリスト・イエスと結ばれていないからです。

最初から、信じていないのです。

——それが、真実です。

24 今、私たちに必要なのは、

昔ながらの、しっかりした悔い改めと清めです。

あなたは、自分自身が、
たった一つの小さな胚(いのちの芽)から始まったということを、
考えたことがありますか？
そうです。
あなたは、一つの小さな胚から来たのです。
かつては、あなたは「何でもない存在」でした。
ここに座っているあなたも、
あちらにいるあなたも、
そして私自身も、
皆、かつては一つの小さな命の芽だったのです。
そして、命の芽は、
男性の側から来ることを、私たちは知っています。
たとえば——
春のことを考えてみてください。
鳥たちは巣を作り、卵を産みます。
母鳥は、
雄鳥と一緒にいなくても、
巣を作り、卵をたくさん産むことができます。
その卵の上に座り、
温め、抱き続け、
やせ細って巣から動けなくなるほど、
そこに留まることもできるでしょう。

ています。
でも、あなたを癒すのは神への信仰なんです。
癒すのは私ではない。あなたの信仰なんです。
だから、信仰を持たなければならない。
そして一つ大切なことは、信仰への近づき方、
神への近づき方というものがある、ということです。
神には、いつも“備えられた近づき方”があるんです。
神は、すべての物事において二つの道を持っておられる。
正しい道と、間違った道です。
そして、あなたの道も、私の道も——それは間違った道なんです。
神の道だけが、いつも正しい道。
たとえ私たちには、どれほど間違っているように見えたとしても、
神の道は真実であり、正しい。
それは私たちの理解を超えています。
しかし神は、不思議な道をもって働かれ、
その御業を成し遂げられるのです。
6 今、神のもとへ来ることができるのは、ただ信仰を通してだけです。
それも、私の信仰ではなく、あなた自身の信仰によってです。
一人ひとりの信仰です。
私は、イエス・キリストによって救われるということに信仰を持っています。
けれども、救いに対する信仰を持っていない人も、たくさんいます。
信仰がなければ、人は救われることはできません。

私は、癒しに対する信仰を持っています。

でも、あなたが癒しに対する信仰を持っていないのなら——

それは、あなたのためには働かないのです。

先日、ある人が私にこう尋ねました。

「ブラナム兄弟……」

その人は、神の癒しを信じていない教会の牧師でした。

私は、どの教会も批判するつもりはありません。

人それぞれ、信じる自由があります。

あなたにその権利があるように、誰にでも権利がある。

人は、それぞれ自分が信じたいものを信じることができるのです。

ですから、その人は……神の癒しを信じていないことを教えていました。

でも、もし私が神の癒しを信じていなかったとしたら——

私は、ここにはいないでしょう。

別のことをしていたはずです。

7 すると、その牧師は私にこう言いました。

「ブラナム兄弟、もしあなたが……

もし神があなたに出会い、病人のために祈る賜物を与えたのなら、

病院へ行って、

『病人のみなさん、立ち上がって、私について来なさい』

と言えるはずだ。

もしあなたが本当に神から遣わされた人なら、

彼らは全員、あなたについて出てくるはずだ。」

動きがあります。

生きているのです。

では、その命の源は何でしょうか。

その病原菌の奥にあるものは、

霊です。

そして、霊が来る源は二つしかありません。

神から来るか、悪魔から来るか。

その中間はありません。

中途半端なクリスチャンなど、存在しないのです。

酔っていて同時にしらふの人を見たことがありますか？

黒くて同時に白い鳥を見たことがありますか？

罪人でありながら聖徒である人はいません。

あなたは、クリスチャンか、罪人か、どちらかなのです。

だから私は、

皆さんのようなフル・ゴスペルの人たちが好きなのです。

皆さんは、はっきりと線を引きます。

どちらか一方に立つ。

人として生まれれば、人です。

同じように、

クリスチャンとして生まれたなら、

その人はクリスチャンなのです。

23 では、その病原菌について、もう少し先まで考えてみましょう。

ただ、このマイクに向かって話すのが、
どうしても自然になってしまうのです。

22 では、よく注意してください。

病原菌とは何でしょうか。

たとえば、がんを考えてみましょう。

がんとは、まず何でしょうか？

それは、しこり、腫瘍、白内障、甲状腺腫——
つまり、「増殖したもの」です。

そうですね？

それらは次第に悪性となり、がんになります。

つまり、増殖とは、細胞が増えることです。

では、そこからさらに掘り下げてみましょう。

その増殖の下には、

細胞の集まりがあります。

さらに下に行くと、病原菌に行き着きます。

では、その病原菌とは何か。

病原菌とは、

とても小さな細胞です。

肉眼では見ることができず、

顕微鏡やレンズを通して初めて見えるほどのものです。

しかし、そのさらに奥を見ると——

そこには命があります。

そこで私はこう言いました。

「兄弟、あなたは、キリストの救いの恵みの福音を宣べ伝えるために、
神から召されたのですか？」

彼は言いました。

「そうです。」

そこで私は言いました。

「では、酒場へ行って、

酔っぱらっている人たちにこう言ってみなさい。

『さあ、みんな、私について来なさい。あなたがたは皆、救われています。』」

彼は言いました。

「彼らが私を信じるなら、できるでしょう。」

私は言いました。

「私も同じです。彼らが信じるなら、できるのです。」

ですから、そこに答えがあります。

信じるかどうか、それだけなんです。

私たちは、ただ信仰によって信じるのです。

そして今、しるしや不思議は確かに行われています。

それらは、本当に預言的な賜物であり、その他の賜物でもあります。

しかし、多くの人は、それを信じたいとは思わないかもしれません。

8 彼は言いました。

「私は、それを信じません。」

そこで私は言いました。

「それは、あなたのためではありません。

信じる人たちのためのものです。

不信仰な人のためではなく、信じる人たちのために与えられているのです。」

「これらのしるしは、信じる者に伴う」と書いてあります。

それが、神の癒しが成り立っている土台なのです。

時には、神が特別なことを起こされることもあります。

それは、信じる者の信仰のゆえです。

私たちは皆、それぞれの分量の信仰を持っています。

ただ、人によっては、ほかの人より少し多くの信仰を持っている場合もある。

ですから私は、何晩かの集会では、

群衆が集まるのを待っている、集会の最初の部分で、

少しだけ話す時間を取ります。

それは、人々が神の賜物がどのように働くのかを、

ある程度理解できるようになるためです。

9 今、牧師たちやそのほかの人たちは、

何度も何度も、同じことを細かく吟味します。

けれども私は、それが必ずしも人々に伝わっているとは思わないことがあります。

それで、ある人たちには、

少しの間、待ってもらわなければならないこともあります。

それは申し訳ないと思っています。

けれども私は、

ここにいる皆さん一人ひとりにとって大切なお方であるのと、

私にとっても、まったく同じほど大切なお方なのです。

私は、批判する人たちが何を言うかを、どうすることもできません。

私にできるのは、

自分が真実だと知っていることを、そのまま語るだけです。

もしあなたが、

正直で、誠実であるなら、

神はそのことを祝福されます。

神は、

あなたが正直で、誠実であることを、求めておられるのです。

21 では、病気とは一体何なのか、少し整理してみましょう。

今日、最大の敵は何かと言えば、

多くの場合、やはり心臓の病でしょう。

ただし、心臓の病は、必ずしもすべてが細菌による病気ではありません。

しかし、病原菌による病気という点で言えば、

第一の敵はがんです。

次に来るのが結核です。

がんは、非常に大きな問題の一つです。

ですから、少しの間、それについて話してみましょう。

ただ、ここでは、

私はあまり自由に向きを変えることができません。

皆さんに背を向けているわけではありませんが……

20 では、病原菌というものは何か。
 それは、人が縛られているときに働く、サタンの力の現れにすぎません。
 そして、その霊がそこから追い出されると、
 自然は自分で回復していくのです。
 その人は、聞こえるようになります。
 見えるようになります。
 あるいは、どこが悪かったとしても、
 癒されていきます。
 私が、主のためにしているこの働きにおいて、
 私は自然的なものを扱っているわけではありません。
 霊を扱っているのです。
 すべてが、霊の領域のことなのです。
 親愛なる皆さん、
 私はこのことについて、
 神の裁きの御座の前に立って、責任を負わなければなりません。
 私は天国に行きたい。
 そこには、私の妻がいます。
 私の赤ん坊がいます。
 愛する者たちがいます。
 そして何よりも——
 私のために死んでくださったお方、イエスがおられます。
 主は、

いい加減に急いで何かを済ませてしまい、
 自分が何をしているのかも分からないまま終わってしまうより、
 少しだけ我慢して、
 集会にもう少し長く留まり、
 本当に癒されて帰ってほしいのです。
 そうでなければ、外へ出て行ってから、
 集会のことを批判するようになってしまう。
 それは、私の望むところではありません。
 もしあなたが、ここではなく、
 メイヨー・クリニックや精神科医のところに行って、
 「一か月ここにいなさい」と言われたら、
 あなたはそのまま滞在するでしょう。
 それは、それで問題ない。
 でも、ここで私たちがしているのは、
 人々に届くところまで行こうとしていることなのです。
 そして、誰であれ——
 10 神の癒しは、すべての人の手の届くところにあります。
 そして、クリスチャンであるなら、誰でも病人のために祈る権利があります。
 それは、そのとおりです。
 「あなたがたの中に病んでいる人がいれば、長老たちを呼びなさい」とあります。
 それが、あなたの教会の執事たちです。

そして互いに罪を告白し合い、互いのために祈りなさい——
ほら、もうそこに答えがあるでしょう。
特別な人を探す必要はありません。
神の癒しの集会在町に来るのを、待つ必要もない。
それは、神のご計画ではありません。
病気になったら、
良いクリスチャンを呼んで、一緒に祈ってもらいなさい。
その祈りを信じられるようになるまで、祈ってもらえばいい。
それでいいんです。それだけなんです。
牧師を呼びなさい。
それが、牧師の務めです。
あなたのところへ来て、一緒に祈るためにいるのです。
そして、もしその牧師が敬虔な人なら——
もちろん、私はこう信じています。
真の牧師は皆、敬虔な人です。
彼らは皆、新しく生まれたクリスチャンであり、
神を畏れる人たちです。
それは事実です。
そして、彼ら一人ひとりには、
完全に正当な権利があるのです……

- 11 今、神が教会に加えておられるものが、
信仰を刺激する役割を果たすことはあります。

では、ここで、この帯を外したとしましょう。
私は、指を切り落とすわけではありません。
ただ、縛っていたものを取り除くだけです。
ここが大切です。
治療法を見つける前に、原因を見つけなければならない。
そうでしょうか？
そして、これが原因なのです。
サタンが縛っていた。
だから、まずそれを取り除く必要があります。
もちろん、
帯を外したその瞬間に、
手が完全に元どおりになるわけではありません。
しかし、状態は変わります。
血の巡りが、少しずつ戻り始めます。
痛みを感じたり、
熱く感じたり、
今までとは違う感覚が出てきます。
そして、しばらくすると——
数日もすれば——
その手は元に戻っていきます。
自然に働く機会を与えさえすれば、
体は正しく機能するように造られているのです。

調べてみましたが、
 ここまでは生きていて、
 そこから先は死んでいる。
 なぜそうなったのか、分からない。
 何かが、そこで起こったのでしょうか。」
 しかし——
 もしそれが目に見えず、触れることもできないものであれば、
 たとえ切開して中を調べたとしても、
 医者はこう言うしかありません。
 「理由は分かりません。」

- 19 つまり、その線から先では、
 神経がもう働かなくなっている。
 そこから先が死んでしまった、というわけです。
 結果として、その手は使えなくなっています。
 では、何が起こったのでしょうか。
 今の話を、
 耳や目、あるいは体のどの部分であっても、
 同じこととして考えてみてください。
 私の理解では——
 そして、これは聖書の教えに基づく理解ですが——
 サタンが、そこを縛っているのです。
 そのために、そこには血の巡りがなくなってしまう。

しかし、私がここを去ったからといって、
 癒しまで去ってしまうわけではありません。
 むしろ、癒しは、
 私たちがここへ来る前よりも、もっと豊かであるべきなんです。
 分かりますか。
 それが目的なんです。
 人々の思いを、終わりの時代の霊の中へと導くこと。
 私たちは、終わりの時代にいます。
 そう信じますか？
 私たちは、確かにそうなんです。
 世の中は、すでに終わりの時代の霊の中にあります。
 けれども、教会は、まだその霊の中に完全には入っていません。
 つまり、私たちは一部には入っているかもしれない。
 しかし神は、ご自分の教会が、
 どこへ導かれても、すぐに適応できるほど霊に満たされることを望んでおられるのです。
 終わりの時代——
 世界の崩れゆく様をご覧ください。
 食べ、飲み、結婚し、嫁がせ、
 この世にはあらゆる不道徳が満ちています。
 悪魔は、終わりの時代の霊をもって、
 自分の軍勢を送り込んでいるのです。
 しかし私たち牧師は、

教会をまだその霊の中へ導き切れません。

けれども、主が戻って来られるとき、携え上げられるためには、

私たちはその状態にいななければならない。

(テープ欠落)

12 それで、私はこう思うんです……。

以前、あるとき博物館に行ったことを思い出します。

私は芸術や自然が大好きなんです。

そこで一枚の絵を見て、

「この絵はいったい、いくらぐらいの価値があるんだろうか」と思いました。

すると、その原画には値が付いていた。

そして今日、ここ町の中で、

「家におられる見えない客、キリスト」という絵を見かけました。

中へ入ってみると、それに値段を付けていたんです。

でも、それは原画ではなく、

オリジナルの名作を写した写真にすぎませんでした。

その名作そのものは、

何千ドル、何万ドルという価値があるとされていました。

そのとき、画家がこう言ったんです。

「この絵を描いた人は……」

そこで私は言いました。

「この絵を描くのに、その人は一生を費やしたんでしょうね。」

そして、どんな絵であっても、

さあ、ここをよく聞いてください。

もし皆さんが、一晩、二晩と、

少しの間、私に付き合ってくださいるなら、

そして、あとから来る人たちをも励ましてくださるなら……分かりますね？

そして……？

そこに幻(ビジョン)が伴ってくるのです。

では、注意して見てください。

ここに、私の手があります。

この手の周りに、

たとえば、こんなふうに通明な帯を巻きつけたとしましょう。

するとどうなるでしょう。

血の巡りが止まり、

この手はだんだんと死んでいきます。

しばらくすると、私はその手を使えなくなります。

そこで、私は医者のところへ行きます。

医者はそれを見て、こう言うでしょう。

「ブラナムさん、分かるのは一つだけです。

あなたの手の神経が死んでいます。」

そこで私は言います。

「先生、では、何がそれを殺したのですか？」

すると医者は、こう答えるでしょう。

「私には、まったく理由が見当たりません。

たとえば、あそこの演壇の反対側にいるあの人も、耳が聞こえません。
 では、何がそれを引き起こしたのでしょうか？
 その人の全身の神経が、全部死んだわけではありません。
 耳の神経だけが死んだために、聞こえなくなったのです。
 では、なぜ、そのような耳の聞こえない状態が起こるのでしょうか。
 なぜ、その神経は死んだのでしょうか。
 医者が扱えるのは、
 見えるもの、触れることのできるものだけです。
 それが、医者仕事の範囲です。
 レンズで見ることでもできるでしょう。
 フルオロスコープや、X線写真で確認することもできます。
 あるいは、手で触れて、
 しこりや腫れを感じ取ることもできます。
 それが、医者を取り扱う対象です。
 しかし、神経に関して、
 あるいは何か異常があることは分かっても……？
 「神経が死んでいる」ということは分かっても、
 では、何がそれを殺したのか？
 そこが、混乱の起こるところなのです。
 分かりますか？

18 ですから私は、神の御言葉の権威に基づいて判断します。
 それは、目には見えない霊の働きなのです。

どんな名作であっても、
 実際に完成し、世に出る前に、
 まず“批評家の回廊”を通らなければならない。
 数えきれない批評を受け、
 それをすべて通過して、
 ようやく認められたとき——
 その絵は、名誉の殿堂に掲げられるのです。

13 [テープ欠落]……？
 リバイバルが、国中を、至るところで覆っていました。
 それは、世界中のペンテコステの教会の中で起こっていたことです……？
 百万人を超える回心がありました……？
 しかし人々は、
 あれこれと心配し始め……？
 御霊のバプテスマのことや……
 それが起こってから、まだあまり時間がたっていなかったこともあり……
 [テープ欠落]
 やがて、人々は彼らを笑うようになりました。
 [テープ欠落]
 [ここは二重録音のため判別が非常に困難]……？
 その中から、私は出て来ることがありませんでした。
 むしろ、彼らは私を外へ追い出しました……？
 しかし、私には兄弟姉妹がいました。

同じ性質を持つ者同士——いわば、同じ羽の鳥たちです。

彼は、こう言いました。

「鳩は散らされると、互いに交わりを持たなくなる。

しかし——」

猛禽(あさり鳥)は、何でも食べる。

けれども、

鳩は、自分の食べるものを選ぶ。

分かりますか？

14 さて、よく注意して聞いてください。

小さな教会は、路地裏に追いやられ、

「ホーリー・ローラーだ」「狂信者だ」と呼ばれてきました。

しかし、そのずっと下積みの時代を通して、

神は一枚の絵を描いておられたのです。

人々がじっと見つめるための絵を。

そして、ある朝、

神はその絵を、栄誉の殿堂に掲げられるでしょう。

その通りです。

これまで嘲り、笑いものにしてきた人たちは、

彼女(教会)が出て行くとき、それを見ることになるのです……？

[テープ欠落]

今夜、あなたがその中に数えられていることを、うれしく思いませんか？

私は、ここに來られて本当にうれしい。

神は私たちを永遠に生きる者として造られました。

死をもたらしたのは、罪です。

ですから、覚えていてください。

病気とは、死の性質(実体)なのです。

なぜなら、まず最初に罪があり、

罪が病をもたらしたからです。

罪がなければ、病もありません。

ですから、まず皆さんに知ってほしいのは、

病は、悪魔から来るものだということです。

これは、これからお話しする内容ですが、

少し古風な考え方に聞こえるかもしれません。

現代的な考えを持つ方の中には、

違和感を覚える人もいるでしょう。

しかし、私は現代の理論に基づいて教えているのではありません。

神の御言葉に基づいて教えているのです。

そして、御言葉は、これらのものを「霊」と呼んでいます。

「耳が聞こえず、口もきけなかった霊が、その人から出て行くと、

その人は聞こえ、話すことができるようになった。」

——そう書いてありますね？

医者是这样いいます。

「耳の神経が死んだのです」と。

だから、その人は耳が聞こえない。

[テープ欠落]

今、私はここに立っていますが……

[テープ欠落]

そこに、彼の息子たちが座っています。

後ろの方にいる人たちは、

もう私と同じくらい大きくなっています。

[テープ欠落]

まるで、昨日のここのように思えます。

私は願っています……？

神よ……。

私はこう考えるのです。

「もしかしたら、

あの子どもたちは……？」

しかし、最初に取り去られるのは彼らなのです。

[テープ欠落]

それでも、私たちは教えられてきました。

まだ若いころから……

[テープ欠落]

17 [テープ欠落]……？

そして私は、こう考えるのです。

「神は、私たちをこのように死ぬために造られたのだろうか？」

いいえ、

神を信じ、

神の奇跡の御業を信じ、

そして主が再び来られることを信じている人々と、

共にいられることを感謝しています。

さて、これから少しだけ、

皆さんの助けになることをお話ししたいと思います。

それは、神の癒しについてです。

もし、神の癒しに対して正しい向き合い方をしなければ、

あなたは癒しを受け損ねてしまいます。

実際、多くの場合、人々は

心を落ち着かせてもらうことばかりを求め、

あれもこれもと求めます。

そして、まるで勢いで突き進むように……？

[テープ欠落]……？

15 その人に、こう言ってあげてください……

「少し腰を下ろして、落ち着いてください」と。

どうしても落ち着けない人がいるなら……？

私たちは急いでいるわけではありません。

その人に、自分の心の状態を問いかけてあげなさい……？

これこそが、

今日の世の中の問題なのです……？

私たちは、あまりにも急ぎすぎています……。

実業家の皆さん、
 神の御前で、一度ご自分を点検してみてください。
 集会が一時間、あるいは一時間半を超えると、
 「まあ、なんて長い集会なんだ」と言うことがあります。
 そうでしょう……？
 でも、思い出してください。
 あなたが普段、どれほど長い時間を、
 他のことのために使っているかを。
 そして——
 あなたが、自分の体にある癌のために、
 どれほどの時間と心を費やしてきたかを……？
 もし、
 この肉体の癒しのために信じるだけの信仰がないとしたら、
 どうして携挙に入ることができるでしょうか。
 この朽ちるものは、
 必ず朽ちないものを着るようになるのです。
 [テープ欠落]
 今、しるしと不思議が行われ、
 多くの人々が信じる信仰を持ち始めています……？
 [テープ欠落]
 魂の苦悩の中で……。

16 [テープ欠落]……？

それは、**教会の型(予型)**のためでした。
 そして、それが起こる時がいつなのか、誰にも分かりません。
 彼らを取り去られるとすぐに、大患難が始まりました。
 それは……？
 [テープ欠落]
 しかし、教会は決して……
 [テープ欠落]
 携挙の中で……？
 それもまた同じことです。
 さて、神の癒しに近づくときの話に戻りましょう。
 まず第一に、
 サタンとは何者なのか——
 彼が何をしようとしているのかを、
 あなたは知る必要があります……？
 どうか、よく聞き続けてください……
 [テープ欠落]
 そして私は、こう思いました。
 「まあ、これは一体……」
 もし私が、
 小さなずんぐりした手の少年で、
 外でビー玉遊びをしていたあの頃に、
 この道を歩かされていたとしたら……